

大分教育事務所訪問②-7 (計 80)

由布市立阿南小学校に学ぶ

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「豊かな心で、学びに向かい、地域に元気を届ける阿南っ子の育成」を達成するために、学校として育成を目指す資質・能力を「伝える力、自己有用感」と定め、教職員だけでなく子ども達も「自分の考えを相手に伝える」「自分が誰かの役に立っている」ことを意識しながら行動をしています。

学校マネジメントに関しては、月に1回、客観的なデータと子どもたちの様子から検証されているので、翌月の取組指標は焦点化されたり、実践によって生じた新たな課題に対応したりしており検証改善サイクルが効果的に行われていると感じました。また、当日頂いた説明資料も「学校マネジメントの4つの観点」で整理され、前回からの成長が明確であり、教職員の「伝える力」のレベルの高さと「自己有用感」を感じました。

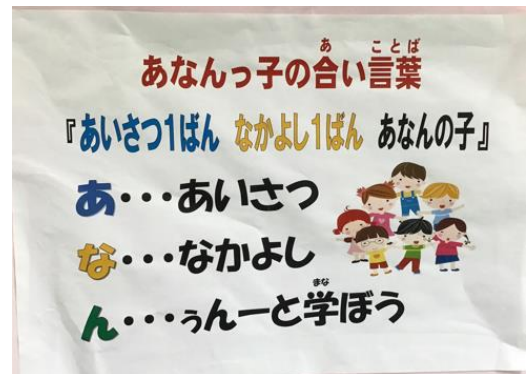
今後は、「伝える力」について、保護者や地域と熟議等を通してより焦点化されることで、「地域に元気を届ける」ことにつながると思いました。その際、以下の資料も参考にされてみてはいかがでしょうか。

※参考資料「小学校学習指導要領解説 総則編 pp.47-53 (2)教科等横断的な視点に立った資質・能力

授業から学ぶ

私は数分しか参観せず申し訳けございませんでした。2年国語では登場人物のうれしい気持ちを声や仕草で表していました。4年算数では3通りの考えが出されていましたが他の意見に流されることなく自分の考えを伝えていました。5年図工は見る人が驚く様子を想像しながら計画を立てる姿が印象的でした。「振り返り」の様子を見ることで、どの授業も、伝える力、自己有用感を意識されていると感じました。

今後は、「振り返り」で、子ども達がどのような事を書くのか、どんな姿になったら良いのか等、教師が願う具体的なゴールの姿を「子どもを主語」とすることで、「ねらい」との連動や評価規準がより明確になると思います。そのような日常的な実践を行うことで授業力がより向上すると思いました。



NO.363 2021年10月 由布市立阿南小学校

あいさつ

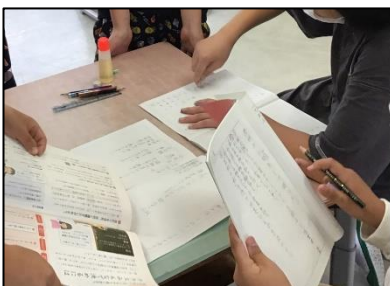
あいさつに頑張っているから、授業中も友達や先生と心がつながる。そして自信がもてる。



NO.364 2021年10月 由布市立阿南小学校

なかよし

みんなが認めてくれる安心な学級だから、授業中も思ったことが言える。行動もできる。



NO.365 2021年10月 由布市立阿南小学校

うんーと学ぶ

自分の考えを伝え、友達のと比べる。議論しながら、みんなの考えをまとめる。毎回行うことで圧倒的に学ぶ。